

令和2年12月 定例教育委員会

日 時 令和2年12月21日（月）15時00分～

場 所 市役所4階第3委員会室

出席者

（教育委員）

西本教育長 中島教育長職務代理者 内海委員 合田委員 萩原委員

（事務局）

山元教育総務部長兼新しい学校推進室長 松尾総務課長兼スマートスクールSASEBO副室長
杉本社会教育課長 嶋田スポーツ振興課長 陣内学校教育部長 松田教育次長兼学校教育
課長 木原教育センター所長 副島総務課長補佐 松本スマートスクールSASEBO係長
尾崎スマートスクールSASEBO推進室主査

欠席者（新型コロナウイルス感染拡大防止措置）

山口文化財課長 坂口図書館長 近藤青少年教育センター長

傍聴者 なし

内 容

(1) 教育長報告

(2) 令和2年10月分 議事録確認

(3) 議 題

①なし

(4) 協議事項

①今後のコミュニティ・スクール及び地域学校協働本部拡充について

(5) 報告事項

①成人式典の開催について

②公立公民館のコミュニティセンター化について

③青少年育成研修会の開催について

④宮地区複合施設の開所について

⑤V・ファーレン長崎 佐世保市小学生応援事業について

⑥学校再編説明会の進捗状況報告について

⑦1人1台端末の運用開始について

(6) その他

①次回開催予定について

◆ 教育長報告

- 11月20日 定例教育委員会
- 市政懇談会（広田地区）
- 11月22日 させぼ童謡コンクール表彰式
- 11月25日 県教委・市教委指定研究発表会
- 11月26日 市政懇談会（清水地区）
- 11月30日 小学校定例校長研修会
- 常任委員会
- 12月 3日 徳育推進会議合同会・意見交換会
- 12月 5日 佐世保明るい社会づくり運動推進協議会 創立記念式典・祝賀会
- 12月 7日 小学校定例副校長・教頭研修会
- 12月10日 前期教育委員会
- 12月14日 宮地区複合施設内覧会
- 12月18日 総合教育会議

【中島教育長職務代理者】

それでは、失礼します。定刻となりましたので、定例の教育委員会を始めますけども、今日はちょうど同時刻から緊急の、御存じのように、コロナウイルス関係の合同の記者会見があるということで、教育長はそちらのほうに出ております。後ほど戻ってくるまで、私のほうで進行をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

まず10月分の議事録についてでございますけども、事前にお知らせいただいて、それぞれ委員さんに確認をしていただいておりますけども、何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

【全委員】

ありません。

【中島教育長職務代理者】

そうしたら、10月分につきましては確認をしたということで、よろしく願いいたします。

(3) ですけども、議題については今日はございません。

(4) 協議事項につきまして、一つございます。今後のコミュニティ・スクール及び地域学校協働本部拡充についてということで、今、資料が配られましたので、それについて協議を始めたいと思います。これについての説明を学校教育課長、お願いします。

【松田学校教育課長】

学校教育課長です。失礼いたします。

実は、これは前回、前期教育委員会のときにも大方説明をさせていただいたのですが、今回につきましては、コミュニティ・スクール拡充の目安、ちょうど中ほどの拡充目標に、目標値、令和4年度に8校程度、小佐々地区を含みますから、さらに5校程度、それから、令和5年度には15校程度を増やすという方向で進めてよろしいかというところでの皆様の御決議をいただきたいということで、協議事項に挙げさせていただいたところでございます。学校教育課としては、令和4年度までに8校程度、学校運営協議会の設置を目指します。学校運営協議会設置をもってコミュニティ・スクールという形になりますので、設置校の拡充を行っていきたいと思います。

それから、社会教育課の取組としましては、地域学校協働活動推進委員設置要綱を策定いたしまして、令和4年度までに、8校程度への地域学校協働本部の整備を目指したい。簡単に言うと、地域の人材をここでしっかりと集約をして、コーディネーターを設置して、学校が地域との交流、体験活動、地域の人材を生かした活動等を行うときに協力していただく、支援していただく本部でございまして、これを段階的に、全ての地区へ拡充していきたいという考えでございまして。

ただ、検討すべき事項として、懸案事項が4番に示しておりますが、地域人材の継続的な確保、学校運営協議会の委員さんを長いスパンで続けてくださる方というのを確保していく、また地域のコーディネーターとして主になっていただく方も確保していく。こういう人材確保が大きな課題となっております。

もう一つ、財政面の整理がこれから必要になってまいります。学校運営協議会となりますと、特別職の公務員に準じる形になりますので、委員報酬を現在お支払いしているところでありますが、これを拡充するとなると、当然、予算化の拡充も必要になってまいりますし、地域学校協働本部につきましても、活動の業務委託金という形で資金を提供させていただいておりますので、これも財政面での対応が必要になってまいります。

令和4年度拡充があれば、4年度から予算化が必要になりますので、財政のほうにこれも懸案事項として調整をしていかなければいけないというふうに思っております。

これらの検討課題や懸念事項がございまして、拡充のこの一つの数字を、この数字で進めてよろしいかどうか御協議いただきたいと思っております。

以上でございます。

【中島教育長職務代理者】

コミュニティ・スクールにつきましては、前回の折に、この内容についての方向性についての確認をいただきましたので、今回は数をこういったほうぐらいでどうなのかということでのお諮りということですが、何か委員さんのほうからございませぬでしょうか。

【合田委員】

ちょっと耳にしたお話では、他市町から来られた校長先生が、「自分のところもコミ

ユニティ・スクールだったらいいのに」というようなことをちょっと地域の方との会議で発言をなさったとちょっと耳にしたんですよ。なので、まずこの令和4年度の8校だから、あと5校ですね、これを何となくスムーズにいくんじゃないかなと思った次第です。そういうお話を聞いたところは地域がしっかりされているので、いろんな人材もいらっしゃる地域だったから、期待しています。

以上です。

【松田学校教育課長】

ありがとうございます。

【中島教育長職務代理者】

ほかにございませんでしょうか。

僕も幾つか確認ですけど、基本的には、それぞれの地域の環境というか、いわゆる幅広い意味での地域力、言えは違いますので、やっぱりそれぞれの地区から手を上がった、いわゆるボトムアップでやっていかないとなかなかうまくいかない。こちらから地域のほうにお願いすることがたくさんありますから。いわゆる、自治協とかの関係性とかいうのが物すごくありますので、基本的には、今、合田委員さんが言った、やろうというそういった意図が下からないとできないし、こちらから先に何校ありきでいくとちょっとおかしなことになりますので、ある程度の幅をもって、やれるというところからやっていくというところで。やっぱり地域によってはなかなか難しいところも出てくると思うんですよ。だから機械的には多分いかないと思うんですよ。急ぎすぎても駄目だし、またやりたいというところにだけにやらせるのも問題が出てくるでしょうし、ある程度この数というのは、もちろん予算の関係があるかと思うんですけども、ある程度流動なところで、できるだけ早い段階に地域に落として、あるいは校長会に落として、どうでしょうかという投げかけをして、どれぐらいボールが返ってくるかというのから逆に予算運用するというふうな。事前の調査をしていた方がいいのではないかと。こちらから数ありきでいけば、逆に数の調整で苦しむことになるかなと思いますので、環境がずっと比例的に進んでいくわけじゃないです。その実態において進められたほうがいいのかと思います。個人的には思っております。

ほかに何かございませんでしょうか。どうぞ。

【萩原委員】

私も同じように、5校とか決めるよりも、やっぱり環境の整っているところが手を上げると思っていますので、そういうふうなのでだんだん増えていったほうがより自然かなと。向こうがしたいという、学校からしたいと言われれば、地域もそれではというふうにはなるんじゃないかなと思います。

それと、ここに懸案事項として出ていますが、人材の継続的な確保かな。それがなかなか、多分地域では、1人がなるとずっとその人にお任せという感じになって、物す

ごく負担になるという、前のコーディネーターがいらっしやったので。その辺を地域で、人材がどうしようかなというときに、手助けというか、そういうのをこちらから、市のほうからしていただくと、とてもありがたい。もう本当に人がいないときに、なったはいいけど後はどうするのという感じにならないように、ずっと支援をしていただければありがたいなと思います。

【松田学校教育課長】

分かりました。ありがとうございます。

【中島教育長職務代理者】

ほかに何ありませんか。

【全委員】

ありません。

【中島教育長職務代理者】

なければ、この協議事項については、今、委員さんから御意見が出ましたので、今後検討されて、提案どおり進めていただくようにどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、協議事項は終わりました、報告事項が結構ありますので、報告事項について、①から⑦、順に進めていきたいと思います。

まず初めに、成人式の開催について。これ以降については、当日資料の③ですね、これに①からございますので、順に説明をお願いします。

初めに成人式ですので、社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

社会教育課長です。

資料1ページをお開きください。

令和3年成人式典の開催について、現時点での開催方針についてお伝えします。市内でも新型コロナウイルス感染症の感染者が連日出てきている状況で、今、フェーズが3の状態でございます。現時点では、感染症対策を行った上で、成人式典を予定どおり、令和3年1月10日、日曜日の12時から行う予定にしております。場所は、アルカスSASEBO大ホール。そして中ホールでは、大ホールの様子を同時放映しながら開催したいと思っております。

なお、改めて感染症対策を講じた上での開催方式について、そちらに記載しておりますが、まず、現段階では、消毒、検温、マスクの着用、それから手指、それから入り口の足踏みマットによる消毒の徹底をしたいと思っております。入り口は1か所に絞らせて、そこに2つ、2列サーモグラフィカメラを置きまして、検温を行います。

そして密集回避のために、敷地内導線を張りまして管理を行う。警備会社の警備。収

容人数50%上限の入場。それから保護者につきましては、介添えが必要な場合は認めますが、それ以外の入場は制限を行います。それから、アルカス広場への滞留の禁止。そして、御案内が遅くなって大変申し訳なかったんですが、来賓、主催者の皆様についても、今回密を避けるということで、制限をさせていただいております。主催者につきましては、市長、両副市長、教育長、それから来賓につきましては、国会議員、陸自・海自、県議会議員についても御欠席で今回は御案内しませんで、市議会からは議長、文教厚生委員会の正副委員長のみのお案内とさせていただいております。

それから、非接触ということで、当日ライブ配信を行いたいと思っております。ライブ配信をすることで、御家庭でも成人式典を楽しむことができますということで、できるだけ会場に集まる人を少なくしたいというふうに思っております。

それから、入り口では入場者の氏名、連絡先ということで、市内に住民票を置いていらっしゃる方につきましては御案内のはがきを送っております、はがきの下のほうにお名前と連絡先を記入する場所を設けております。それを入り口で切り取っていただいて、提出をいただく形にしております。県外から御参加される方につきましては、その用紙を御準備しておりますので、そこで記入をいただくようにしております。

以上がフェーズ3の状況での開催の形式になります。

これがフェーズが上がっていった場合、また状況によっては、集合形式の式典を中止して、代替措置としまして無観客の上、来賓を絞って開催をして、様子をオンライン配信をする。また、検討委員、11名の皆さんで今検討をいただいておりますので、そこからメッセージ、二十歳の決意の発信をしたいというふうに思っております。

これが、最悪のフェーズ5になった場合につきましては、施設も使えないことになると思いますので、式典の中止。それで庁内で市長または市議会議長のメッセージを撮影し、配信をすると。先ほど言ったフェーズ4での対応について、成人式典の検討委員さんからのメッセージ等についても配信する形で検討を行っております。

これはあくまでも現時点ですので、今後、状況によっては変更があり得るということをお知らせしておきます。

中止の場合とか状況が大きく変わる場合につきましては、できる限りいろんな方法で周知をしたいというふうに思っておりますが、今、県内では、新上五島町、南島原市が中止を決定している状況でございます。

以上でございます。

【中島教育長職務代理者】

今、成人式の、一応方針決定が終わっているところですけども、状況はかなり厳しく変化していますので、今後の対応について非常に悩ましいところでしょうけども、何か御意見、お尋ねございますか。

【合田委員】

新成人の保護者なんですが、同窓会はもう全部、各小、中、高校、学校単位、学年単

位、クラス単位はほとんど中止になっているというふうに聞いています。これを焦点に当てて、もちろん2週間前から会食禁止とか、新成人も保護者も一応備えてはいますので、医療従事者としてはリスクが高いなと思いつつも、新成人の保護者としては。うちは息子だったのでどうでもいいとは言いませんが、お嬢様の晴れ着とか、その日に撮影とかされる方もいらっしゃるのです。

ただ、このフェーズごとの対策というか、よく考えておられると思うんですよ。これがあれば、事態が変わってもすぐ対応できるのかなと思いますので、事態を見守りつつ、流れを見守りつつ、対応して。大変だと思いますけど。式典にいるその状況が濃厚接触かと言われたら、ちょっと疑問に思うところも、もちろんマスク着用ですからね。これは私よくできていると思います。見事です。

【中島教育長職務代理者】

ほかに何かございませんか。

【萩原委員】

今年の式典の内容は、昨年の内容と何か違いがありますか。

【中島教育長職務代理者】

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

今年につきましては、最初からコロナの状況下でということだったので、大きく何も変わっておりません。逆に、アトラクションにつきましても、ほとんどする予定です。どうしても成人の皆さんがやりたいというお気持ちがあったのでやりたいと思っていたんですが、そこについても20分程度時間がありましたがそこについても中止にしたいという方向です。あとは、国歌、市歌についても、CDを流しますとか、あと来賓紹介についても短くするとか。

【合田委員】

かなり短くなりますよ。

【杉本社会教育課長】

時間も30分程度で終わるかと思います。

【萩原委員】

新成人の決意とか、そういうのはするという。

【杉本社会教育課長】

それはあります。

【萩原委員】

そこだけです。

【杉本社会教育課長】

そこは大事にしています。

【萩原委員】

分かりました。

【内海委員】

個人的には、8年目最後の年で。まあ7年出ましたので。よかったです。

【中島教育長職務代理者】

そうしたら、成人式の式典についてはよろしいでしょうか。

【全委員】

ありません。

【中島教育長職務代理者】

ありがとうございます。よろしく願います。

それでは、②です。公民館のコミュニティセンター化、これについても社会教育課のほうでよろしく願います。

【杉本社会教育課長】

社会教育課長です。

資料は2ページになります。

これまで平成30年6月から令和2年9月まで、全8回にわたって定例教育委員会の中でも御協議させていただいてきましたコミュニティセンター化につきましては、さきの12月議会におきまして、コミュニティセンター条例が全会一致で可決をされております。その概要について御報告をさせていただきたいと思っております。

まず、今回につきましては、コミュニティセンターの条例の制定は市民生活部、それから公民館の条例の廃止というものは教育委員会でしたので、総務委員会と文教厚生委員会の聯合審査会というところで審査を行いました。その中で、そこに主な意見で書いておりますが、コミュニティセンター設置後、社会教育の機能はどのようになるのかという御意見がやはり出ておりました。そこで、答弁としまして、社会教育委員の会、それから公民館審議会に諮問を行って、答申を受けながら、今の質の担保、その公助につ

いてを諮りながら進めていきますという答弁をさせていただきました。コミセン化後も引き続き社会教育課においてセンター長及び職員への研修を行って、また、教育委員会の職員として併任しながら現在実施している公民館の事業を展開していきますということで答弁させていただきます。

その翌日、総務委員会のほうでも審査がございました。ここでは、公立公民館の設置の経緯とこれまでのコミュニティセンター推進経過について説明をさせていただきます。その中で、主な意見としましては、それぞれの地域の特色、歴史は様々である。その中で、コミュニティセンター設置についての理解度が異なっているので、自治協設立のときと同じように、モデル地区を定めて課題の整理を行いながら、その後、全体的にスタートしてはいかがかというような御意見が出ております。それにつきましては、今回は市の直営施設ということで、今の公民館の用途を広げるというサービス機能の拡充であるため、今回、施設によって差が生じ、混乱が起こらないように、責任を持ってしっかりと運用を図っていくことができるかと判断したことで、一律にスタートすることにしておりますという説明を行っております。

その結果、全会一致で可決にはなっておりますが、下に書いておりますように、要望事項が二つ付されております。要望事項につきましては、一つ目が、地域の思いを十分に尊重して、地域と一体となって慎重に管理運営を行うよう意見を聴いてほしいということ。それからもう一点が、市として住民自治の実現を見据えたコミュニティセンターや自治協との関わり方について早急に整理をして、地域の特性を生かした事業推進を図ってほしいという、二つの要望がついております。

その上で、全会一致で可決ということで、来年4月からコミュニティセンターになるということで整理されております。

3ページ、前回の定例教育委員会の中で職務代理者のほうから御意見がありました、今後の広報の状況でございます。

今まで自治協議会だけの協議とか、そういうのがあったんですが、一般市民の方への周知というのが全くできておりませんでした。そこで今後、どういう形で周知していくかということをそこに記載しております。

まずは、広報というところで、定期利用団体への説明会のところ、1月から順次行っていく予定にしております。これについては、コミセン化の主な変更点などを中心に定期サークルさんへの説明を行います。一般の方への周知につきましては、市のホームページへの掲載、それから館のほうにチラシを設置する予定にしております。それから市のパブリシティということで、明日、市長の定例記者会見がございしますが、その中で市長からコミセン化の移行について報告をいただきます。その後、広報のほうに1月号、2月号に続けて掲載をする形にしております。後は、公民館へのポスター掲示、それから町内会への掲示板へのチラシ、ポスター掲示。それから、はっぴい！FM、市政だより、ホームページ等で周知を行うようにしております。

自治協につきましては、これまでのブロック会議、代表者会議などで周知しておりますので、随時それにつきましては広報を継続していきます。

公民館のほうとしましては、コミセンの開館準備ということで、公共施設予約システムの改修でありますとか看板の書換え、設置、それを行います。公民館長、職員につきましては、コミセン化4月に向けて研修をしながら、現場の皆さんが一番大変になると思いますので、そこにつきましてはハンドブックを作りながら、具体的な事例を挙げながら、判断に迷うことが極力ないように、センターごとで対応が変わらないようにという視点で、周知、研修を行っていく予定にしております。

以上でございます。

【中島教育長職務代理者】

御説明がございましたけども、これも前回の定例会の中でもいろんな御意見をいただきまして、今後のスケジュールについても具体的に示されております。何か要望、御質問等ございませんでしょうか。よろしいですか。

【全委員】

ありません。

【中島教育長職務代理者】

それでは、2番目のコミュニティセンター化も上げたいと思います。

それでは三つ目の青少年育成研修会の開催について、これも社会教育課ですね。お願いします。

【杉本社会教育課長】

社会教育課長です。

続いて4ページをお開きください。

令和2年度の佐世保市青少年育成研修会についてでございます。

例年、青少年連盟と市教育委員会の共催で研修会行っておりまして、毎年中学生によるパネルディスカッションを行う形だったんですが、今回はコロナウイルス感染症対策としまして、中学生によるパネルディスカッションではなく、講師を招聘しての講演会という形で開催したいと思っております。ただ、参加者数を各中学校区3名までと絞り込んだ形で行いたいと思っております。

中身につきましては、そこに趣旨と書いておりますが、予測困難な時代を迎えた中で、健全育成会や自治協議会、また学校や地域、PTA活動の課題や今後の方向性について共に考える場としたいなというふうに思っております。

そこで今回は1月23日土曜日に、「「地域をつくり人を育む」～生涯学習・社会教育の現場から～」ということで、長崎大学教育学研究科等非常勤講師をされております江頭明文先生をお招きして、講演会をお願いしております。参加者としてしましては、各中学校区の健全育成会長、自治協関係者、PTA会長、また学校の管理職、合わせて各地区3名以内ということでお願いをしているところでございます。

今回は中学生によるパネルディスカッションではございませんが、さきに行いました懇話会につきましても、関係者による研修会に替えて、会長間の中でいろいろな情報交換をして、有意義な時間になっております。今回はその後の講演会ということで、インプットしながら、また会長の皆さん、学校関係者と共に今後の在り方について考える場になればというふうに思っております。教育委員の皆様には別途文書で開催のお知らせということでさせていただきますと思っております。

以上でございます。

【中島教育長職務代理者】

例年行われております青少年育成研修会も、こういった状況でございますので、ちょっとスタイルといいますか、縮小した形で、各地区の代表者ということで選定して行うということでございますけども、これは引き続き、夜の懇話会というのは予定どおりですか。

【杉本社会教育課長】

夜の懇話会も中止しております。

【中島教育長職務代理者】

昼で今回は終わるということですね。

【杉本社会教育課長】

はい。講演会だけで終わります。

【中島教育長職務代理者】

分かりました。

この研修会、いいでしょうか。

【全委員】

ありません。

【中島教育長職務代理者】

以上で終わります。

それでは四つ目の宮地区の複合施設の改修、これは社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

社会教育課長です。

資料5ページになります。カラーの資料があると思います。

宮地区の複合施設、公民館と支所の複合施設がいよいよ開所を迎えます。これは佐世

保市の長寿命化改修工事のモデル事業として初めての施設となります。

工期は、令和2年1月9日から11月5日まで建物の工事をしておりました。現在も外構の工事はまだ続いておりますが、共用開始が、来年の1月12日が支所、1月18日に公民館を開所いたしますので、そのお知らせをさせていただきます。この長寿命化改修工事は、中ほどに書いておりますとおり、全面的な開所に備えて、省エネ化とかライフラインの更新などに応じた機能を向上させるというものです。主に建築後40年の経過を基準に実施して、80年もたせていこうというような方針となっています。

外観になります。改修前から改修後ということで、外観の意匠も少し凝りまして、モダンなというか、宮の中でもきれいな建物が出来上がっているかなと思っております。

下のほうがエレベーターの周りになります。エレベーターを新しく造っておりますので、手前のほうが少し出っ張った形になっております。

めくっていただきまして、6ページになります。

1階ロビーから料理室、カウンター、トイレ、支所という形で、それぞれの変化を写真にしております。特にロビーがとても狭くて暗い雰囲気があったんですが、そこにつきましては、全て取っ払った形で、明るく広い印象を持てるオープンコーナーに改修しております。ここにつきましては、宮地区の歴史を紹介する文化財の展示エリアも新たに整備をする形になりまして、宮地区の今までの歴史をパネルにしなから、今までの歴史を展示するような形としております。

あと、授乳室も新たに設けております。授乳室だけではなくて、場所がちょっと狭くありましたので、湯沸かし室の中に授乳ができるようなスペースをつくって、壁もちょっと明るめの壁にして、お母様たちにも安心して来館できるようにしております。

それから和室についても、今まで27畳だったところを30畳、押入れを取ったりとか、ぎりぎりできる範囲でということで改修を行ったりとか、トイレにつきましても洋式便器を2基から5基に増やして、オストメイトを含む多目的トイレも造っております。あとはエレベーターを新設しております。

2階につきましても、会議室と講座室があったんですが、その壁を可動式の間仕切りにしまして、両方でも使えるような形で改修をしております。

それから、すいません、写真はないんですが、バルコニーの手すりを更新しまして、木な感じのルーバーに換えたり、床をデッキ風に改修したりという形で、若い方にも使っていていただきやすいような雰囲気づくりをしております。

内覧につきましては、1月、年明けでまた皆様には御案内させていただこうと思っておりますが、その際に詳しくは説明させていただきます。

1月12日が支所、18日が公民館の開所となっております。

以上でございます。

【中島教育長職務代理者】

どうぞ、内海委員。

【内海委員】

杉本課長、よかったですね。改修にどのくらいのお金を使われたんですか。

【杉本社会教育課長】

建築のほうで1億4,600万円ぐらいです。全部合わせて2億6,000万円ぐらいになっております。

新築をしようと思うと、これが3億7,000万円ぐらいかかりますので、そこからすると約3割縮減という形で、新築そっくりさんという形で出来上がった感じです。

【内海委員】

ありがとうございます。

【中島教育長職務代理者】

ほかに何か。

【全委員】

ありません。

【中島教育長職務代理者】

それでは4番目の宮地区の複合施設の改修について終了したいと思います。

それでは5番目のV・ファーレン長崎の佐世保応援、これも報告になるかと思っておりますので、スポーツ振興課。

【嶋田スポーツ振興課長】

スポーツ振興課です。

資料は事前配布資料の1ページ目をお開きください。

11月28日に、V・ファーレン長崎の佐世保市小学生応援事業を実施いたしました。当日は昼間の14時キックオフで、アルビレックス新潟戦を観ていただきました。もともとはバス8台の360人を予定しておりましたが、コロナ禍の中でしたので、人数を減らして、バス10台で定員を220名として実施しました。

応募者は360人近い応募者がありましたが、抽選をさせていただきまして、220名に絞って、当日何名か欠席がありましたので、全体としては204名の参加がありました。当日は勝利しましたので、皆さん、いい気分です帰ってこられました。残念ながら、今回J2で3位ということで上には上がれなかったんですけど、また来年以降に頑張ってくれるかと思っております。

皆さんからも保護者の方からも、プロのスポーツを見ることができて、非常にいい機会だったとか、郷土愛を子供に伝えられたらというところもあってます。子供のほうは楽しかったということで報告をいただいております。

以上でございます。

【中島教育長職務代理者】

報告でございました。参加できた方々も満足されてよかったということですのでありますが、これにつきましてもよろしいでしょうか。

【全委員】

ありません。

【中島教育長職務代理者】

それでは6番目、学校再編の説明会の進捗状況報告について。

【山元教育総務部長】

教育総務部長です。

資料は当日配付3の7ページをお願いいたします。

7ページから8ページにかけて、8ページの一番下が大久保小学校ですけれども、ここまで前回御報告しておりました。もう1ページ開いていただいて9ページ、12月に入りまして、宮小・中から、一番右の赤崎小学校まで7地区、あしたが赤崎小、今年最後になるんですが、7地区12校を今月回るようにしております。ということで見てお分かりのとおり、12月から義務教育学校というふうに私どもの案をしている学校を回り出しております。

そういうことで、アンケートの結果を10ページ以降つけてますが、まだできているところでアンケートは、宮小、15ページの金比良は今回までしかまだアンケートの集計ができてませんが、今月から義務教育学校に入ったということで、これまで通学距離であったりとか通学距離が遠くなるとか、そういった御質問が多かったんですが、義務教育学校に入りまして、そういった影響は少し小さくはなりましたが、逆に、義務教育学校とは何ぞやということで、そういった質問が多く出ております。学校規模、学年の規模は変わらないけども、教育委員会として、学校の授業であったりとか、その質を高めていくという説明をしながら回っているところです。

アンケートの内容については、また後ほどお目通しいただければと思いますので、私の説明は以上で終わらせていただきます。

【中島教育長職務代理者】

今、地域の代表者、学校の代表者を集めての一巡目のフレームの説明ということで、来年度からは保護者、一般の方々についても説明会が始まっていくことですのでありますが、委員の皆さん方から何かお尋ね等ございますでしょうか。

内海委員さん。

【内海委員】

であれば、順調に進んでいるということでございますか。

【山元教育総務部長】

そうですね、今のところ、建設的な意見、または本当に通学距離に関してはやっぱり物理的に遠くなりますので、そこを考えてほしいとか、そういう意見が多かったです。例えば具体例で言えば、福石中学校を崎辺中学校に併せようという案を出したときに、びっくりしたのは、福石中学校遠くなりますよね、崎辺まで行かないといけない。かなりクレームが出るかなと思ったら、崎辺中学校に送迎するのでロータリーを造ってくださいとか、そういう素朴な意見もあったりとかですね。ちょっと時間もかかるということとまだ先の話という思いもあられるのかもしれませんが、今のところは和やかな雰囲気では一応進んでいる状況です。

【中島教育長職務代理者】

ほかに。

一点だけいいですか。

今、こういった方向で進められていいと思うんですけれども、いわゆる単位が、いろんな基準となる単位が今あるじゃないですか。通学区域というのがあって、自治協議会の区域というのがあって、あと今度新たにコミュニティ・スクール、これはまた別のところなんですけども、これも単位ということですよ。今後、学校と地域との縦のとうか、つながりを考えたときに、コミュニティ・スクールにしても自治協議会にしても、今、少しずれがありますよね。だから、今後、コミュニティ・スクールをつくる場合に、やっぱり学校の校区というのが基準になりますので、そこが地区自治協がまたがってたりすると少し運用的に難しいところが出てきますよね。

そしたら、もちろんそこで義務教育学校としての教育効果というのは一つ出るんですけども、今度は逆に、適性規模というところがクリアできなくなりますよね。特に中学校の適正化が。結局、教育活動が、今いろんな委員さんのほうから御指摘があった、中学校は大きな問題が幾つかある。結局、教科担任制ですので、いわゆる教員定数で、例えば6学級なのであれば、1教科1人入るか入らないかですよ。だから、1つの教科に、いわゆる専門の教科が入らない学校もありますよね。もちろんクラス替えがないのは小学校も一緒なんですけども、それであったりとか、部活動とか何かの問題もあって、今、いろんなところの越境入学というのが結構問題になっていますね。それを言えば、適正規模というのを優先的に言えば、今度は、コミュニティ・スクールが進まなくなります。一旦コミュニティ・スクールにした以上は二、三年後にそれを外すというわけにはいかんですよね。だから、それを縦にくくった場合、義務教育学校、コミュニティ・スクールにした場合に、いわゆる適正規模を何とかしようとしたときに、そこに縦の枠をつくってしまえば、広がり、結構、いざやろうといったときに難しくなるのかなあと気がします。

例えば、福石の例が出ましたけども、あそこもまだ自治協の問題が残っているんですよ。だから、そこである程度整理をしないで。横につくれば一つのクリアはできるんですけども、その単位に何を優先するかということですね。今後、自治協の単位というのは結構大きいかなと。自治協を分断させれば、いざコミュニティ・スクールをお願いするときに、母体となるのは地区自治協なんですよ。地区自治協が実際にずれてまたがったりすれば、そこでまたいろんな問題が出てくると思うんですよ。今いろんな意見として、そこがやっぱり一番出てきているところ。だから、いろんな意味で今後考える幾つかの範囲の中で、いわゆる持続的に、あんまり頻繁に変えられないほうがいいということと。

例えば校区割というのは、町をどこどこにするというのはそんな大きな問題じゃない。また地域の町がまとまればいいわけですから。町がまとまればできるんだけれども、自治協というのはそれができないんですよ。だからその辺の順位というのが少しずつ時代の流れに変わってくるんですけど、そこを長期的に考えておかないと、いざやったけどもうまくいかない部分が出てくるかなとというふうなところがありますね。ふと思つて。また新しい単位が入ってきたから結構大変かなと。

【山元教育総務部長】

教育総務部長です。

特に街の中心部からやや南よりということで、山澄中、福石中辺りが山澄地区公民館、南部地区公民館、崎辺地区公民館、この辺が入り乱れております。そこに説明会行ったら、やっぱり保護者さん、PTAの方は若い世代ですので、なかなか校区をいじって自治協の線引きを変えればいいんじゃないのという頭で分かってはいらっしゃるんですけど、なかなか発言はしにくいというところがあらわれて、ちょっと葛藤されているようなのが見えます。一方で、ある自治協の会長さんは、変えてもよかたいということをおっしゃられます。ただその浮いたところのまた単位の小さな公民館単位というのがありますので、その会長さんあたりはどう思うかというのはありますが、ここは微妙な問題だなと思います。

ただ、アンケートの中にもしかしたら入れていたかと思うんですが、やっぱり学校、子どものことを第一に考えてほしいという意見もありますので、来年そういった意見も聞きながら、大きな変革が起きるのか起きないのか、そこは両方の意見を聞きながら、ソフトランディングというのは考えていければと思います。時間もかかることだと思っておりますので。

【中島教育長職務代理者】

本当にこれ難しいですけど、環境を熟して、だからこれでやりましょうかというのでやっていかないと、大変な、こちらが自転車をこいでも実際にそこでギアがかみ合っていなかったら無駄な力になりますので、意見をかみ合わせた時点で、最終的にはこれでいきましょうかと、下から出てくるような形が一番いいのかなと。一番地区のことを理解

していらっしゃるのは、多分地区の方であり、保護者なので、何か一番大事なのか、何を今一番重視すべきかというのは、答えは多分現場が持っていると思うんですよね。こちらはいろんな最小公倍数でこれが一番いいだろうと思っている感であっても、意外とそうでないところがあるのかなと思いますので、今まさしく言われた、そういった形で、ゆっくり時間をかけて、スピーディーにやるところはスピーディーにやるという形でやられたほうがいいのかなと。

【山元教育総務部長】

ありがとうございます。

【中島教育長職務代理者】

ほかにございませんでしょうか。

【全委員】

ありません。

【中島教育長職務代理者】

それでは、最後、⑦の1人1台端末について。これは事前に資料がありましたので、これは学校教育課でよろしいですか。

【松尾スマート・スクール・SASEBO推進室副室長】

スマート・スクール・SASEBO推進室の松尾です。

事前に資料のほう配付しておりますけれども、カラーを準備させていただきました。右上のほうに当日配付③と書いてある資料を御覧いただけますでしょうか。

こちらの資料を1枚開いていただきまして、2ページ。

年が明けました1月から、ついに1人1台端末の配付を始めていきたいと思っております。今、実機のほうを準備しておりますので、後で操作のやり方等についてデモをさせていただきたいと思っております。

まず2ページ目は、子供たちのほうにこういった形で案内をしたいと思っております。2ページ、3ページが小学生向け、4ページ、5ページが中学生向けのパンフレットとなります。これは今、印刷のほうをしておりまして、1月、端末と並行してということになりますけれども、子供たちに配付していきたいと思っております。朝長市長からもコメントをいただいて、それも掲載しておりますので、御参照いただきたいというふうに思います。

6ページ、7ページは、保護者向けのパンフレットでございます。こちらスマート・スクール・SASEBO構想について、1人1台端末の導入の趣旨等について、できる限り御理解をいただきたいというふうに思っておりますので、こういったパンフレットのほうを配布をさせていただくものでございます。こちら朝長市長からのコメントをいただいておりますので、掲載しております。

1枚飛ばしまして、9ページ、横向きの資料を御覧いただけますでしょうか。

まずは下のほうの二つ目の枠囲み、②番を見ていただきたいんですけども、12月中にグーグルアカウント、クラウドサービスを利用するためのアカウントの配付を完了したいと思っております。児童・生徒に対しまして19,687のアカウント、教職員に向けては1,526アカウントを配付する予定でございます。このアカウントというものは、グーグル社が教育機関向けに提供している、これからの教育現場に適切なICT環境を実現することを目的としたツールでございます。全ての学習データがクラウドに自動保存されるため、バックアップの手間が要らず、容量無制限なので一般的なパソコンやタブレット端末を使った学習ツールのように、空き容量を気にする必要もないという特徴がございます。このアカウントを利用することで児童・生徒の思考や議論を促したり、児童・生徒の表現活動をサポートする教育を行い、児童・生徒の情報活用能力の向上の一助にするつもりでございます。

それに先立ちまして、11月の下旬から、教職員向けの研修をしております。それが上の四角囲みでございますけれども、このグーグルアカウントに伴って利用しますクラウドサービスの中に、Google for Education、こちらのほうを使っていきますけれども、研修プログラムがあって、Kickstart Programという研修プログラムを使いまして、教職員への研修を進めているところでございます。2月上旬にかけて、情報担当教職員等を対象に、計10回、1回につき約40名の参加を見込んでおりまして、市全体で400名に対しまして研修を実施する予定としております。

1枚めくっていただきまして、次ページを御覧ください。

③番、LTE通信回線の整備を行っております。ソフトバンク社と契約を既に締結しております。SIMカードを端末にセッティングする作業をしております。一部の学校につきまして、通信環境があまりよくない学校というのも見られたんですけども、ソフトバンクのほうでそういった学校に対しても、増幅器等を設置するなどの対策をとっております。各学校との通信環境というのは十分に、また公平に整備されるという状況を整えているところでございます。

下の四角囲み、④番、1月6日にスマート・スクール・SASEBO構想等の方針を学校に通知する予定でございます。基本的に1人1台端末の考え方をお示しするとともに、機器等の運用について学校側で混乱しないように、細かい通知を行っていきたいと思います。

ちょっと戻りますけれども、8ページを御覧ください。

実際1月に入りまして、各学校のほうに端末が整備される予定なんですけれども、各学校、校長先生や担任の先生の授業の進捗状況に応じまして、場合によっては家庭に持ち帰らせることも可としたいと思います。これは一斉に、3月まで整備というのがかかってしまうんですけども、それを待たずに、準備ができたところは家庭学習を始めていただきたいと思っております。

8ページでございますけれども、家に持ち帰っていただく場合には、ここに添付して

おります端末貸与申請書兼同意書、この書類を必ず保護者の方に提出していただきたいと思っております。

一つが、公的にSIMカードを使っている人を特定する必要がございます、これはテロ対策等で必要な法律でございますけれども、こういった書類を、私たちも受け取って貸与している方が、相手が誰なのかというのを明確にしておく必要が、法的な義務がありますので、それで提出していただく。あと、仮に御家庭に持ち帰っていただいて、破損や盗難等の危険リスクにさらされるかと思っております。基本的な取扱いのルールを家庭の場にお示しまして、基本的には落として壊したとかというときも、弁償とか賠償は求めない方向でいきたいなというふうに思っております。投げつけるとか、あまりに極端な場合があった場合についてはそれなりの対応をとらないといけないかなというふうに思っておりますけれども、不注意で壊したというのは賠償を求めずに、予備機を500台ほど持っておりますので、それで対応したいと思っておりますのでございます。

資料のほうは飛んで申し訳ございません、11ページを御覧ください。

詳細のほうは、今からデモを行いますけれども、導入する端末につきましては、小学校で1万3,972台、中学校で6,539台。大体1月中に、35校に配付をしまして、2月中には全ての学校に一部なりとも配付が完了する予定でございます。3月いっぱいかかってしまいますけれども、学校に少なくとも一部の端末がそろおうというのは2月中に達成したいと思っております。例えば高学年を優先して使っていただくとか、そういった工夫をしながら、学校ごとに順次、端末を使った学習を始めていただくというものでございます。

12ページを御覧ください。

上の四角囲みでございますけれども、まず学校の支援策として、GIGAスクールサポーターの配置を予定しております。今現在もICT支援員の配置を行いまして、学校の支援をしておりますけれども、GIGAスクール、1人1台端末に対応した新たな業務を課して対応することとしております。

同時に、下の四角囲みでございますけれども、電源キャビネットの整備も、若干端末の整備とずれてしまいますけれども、順次進めていくことにしております。

では、早速ではございますけれども、デモのほうを始めさせていただきたいと思っております。

【松本スマート・スクール・SASEBO推進室係長】

それでは、今から学校に配置する端末機のデモを行いたいと思っております。

私は、スマート・スクール・SASEBO推進室の松本といいます。今日は私と、同じ推進室の尾崎と2名でデモを行いたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。座って失礼します。

前の画面を御覧ください。

端末の起動は、端末を開ければ自動的に起動を行います。

今この画面が出ているんですけども、この画面は本番までになくす予定ではあるんですけども、この画面で起動は実際行っています。大体10秒ぐらいで起動することに

なってます。ちょっとお待ちください。

まず、このログイン画面が出ますので、パスワードを入れます。設定は8文字以上であつたら大丈夫になっております。

端末が起動しますと、初期画面はGoogle Classroomというアプリなんですけれども、こちらの画面が自動的に表示されるように設定してあります。デモ用に、本日は12月21日定例教育委員会というクラスをつくっているんですけれども、こちらのほうを開きますと、本教職員ごとに自分が受け持つクラスを作成する形になります。事前に課題のほうも配付しているんですけれども、こちらの課題ですけれども…。小テストを実際つくっていますので、尾崎のほうに回答してもらいたいと思います。こちらのグーグルフォームというグーグルのアプリを使ってテストを作っています。私が作ったんですけども、5分ぐらいでできました。

【尾崎スマート・スクール・SASEBO推進室主査】

実際、生徒役の画面でございます。同じクラスルームができておりまして、私、生徒なんですけども、マツモトタカフミさんが書いていますが、この小テストがこのように配信されてまいります。ここにテストが届いておりますので、実際に解いてみたいと思います。

「九十九島の数は幾つありますか」。このように、解き終わりましたら「送信」と押しますと、これが先生にすぐ送られる形となります。スコアを表示とありまして、既に点数が実は割り振られておりましたので、スコア表示としますと、この時点で点数が出ます。私、75点だったみたいです。1問間違いです。どこを間違ったのかなあというのもこのようにすぐ結果として出ます。このように、すぐ回答が反映され、分かるといった形になってございます。

【松本スマート・スクール・SASEBO推進室係長】

実際、こちら、サンプルで教育センターの職員何人かに回答してもらっているんですけども、どういうふうに集計がされるか、自動的にされるんですけど、そちらも実際見てみたいと思います。

先ほどつくりましたファイルは、グーグルドライブというところに自動的に保存されるんですけども、こちらの回答、6名に回答をいただいているんですけども、こちらのほうで、点数が大体50点が多いということです。設問1は正解の方がこれだけいるところが自動的にグラフ化されるような形になります。

こちらは自動的に行いますので、採点の手間が省けますし、また、自動的にグラフ化されますので、そのクラスのこの問題に対する状況といえますか、そういうのを視覚的に確認することができるということで、今後のクラスの授業の構成などの手助けになるのではないかなと思っています。

あと、グーグルのもう一つの売りが、グーグルの共同編集というものがあるんですけども、そちらのほうをちょっとやってみたいと思います。

佐世保市の魅力ということで。こちらを同時に。こういうふうと同時に編集ができます。

【尾崎スマート・スクール・SASEBO推進室主査】

こちらで映してるんですけど、私のほうはグリーンなんですけど、私がこうして打とうとしているものが、今、赤で表示をされておりまして、今、係長が打っている分が自動的に瞬時に入力されていると。

【松本スマート・スクール・SASEBO推進室係長】

一応こういった形で、共同編集ということで、今までグループのリーダーの方が多分中心になって、こういうのを意見を聞きながら書いていたので、あまり意見を言えないような子供とかが書けなかったりするケースもあったのかなと思うんですけども、皆さん同時に編集ができますので、どんどん活発に意見を書いていただいて、今までなかなか聞けなかった意見が聞けるとか、そういう利点があるのかなというふうに思っております。

簡単ではございますが、一応こういった形でございますので、デモを終わりたいと思います。

【松尾スマート・スクール・SASEBO推進室副室長】

以上のように、導入のほうを1月から始めていきたいと思っておりますし、学校ごとに担任の先生、クラスごとでどんどんどんどん進んでいくクラスはどんどん進んでいって構わないんじゃないかなというような、そういった指導をしたいというふうに思っております。説明は以上でございます。

【中島教育長職務代理者】

最後の1人1台端末の運用開始についての現況と今後の計画、面白いデモまで準備していただきありがとうございました。

【西本教育長】

それでは、今、1人1台端末の運用開始ということで、説明とデモがありましたが、それぞれの委員さんから御質問と御質疑等ございますでしょうか。

【合田委員】

感想を。もうすごいですね。最後の共同編集のところなんかは、まさに今コロナで、私も看護学校で授業するときに、今、グループワークは物すごく気を遣うんですよ。マスクして、フェイスシールドを全員にさせて、距離をとってグループワークさせるんですが、それにも対応できますよね。発言しなくてもお互いの意見が分かるとか。また、引っ込み思案な子とかですね。すばらしいなと思いました。

一つ、クラスのミーティングルームというか、作成するとき、学年が変わったりするとき、クラスが変わったりするときのそのメンバーの入力とかは、各担任の先生がそういう作業をしなきゃいけないということですか。

【松本スマート・スクール・SASEBO推進室係長】

まず、こちらアカウントというのを登録していただくんですけども、先生と児童・生徒さんするんですけども、そちらを今現在の学校ごとのアカウントというのを学校に配ろうと思っているんですけども、そちらスプレッドシートというエクセルシートみたいなシートがこのグーグルにあるんですけども、そちらで配付しまして、そちらの中で——アカウントというのはGMAILアカウントなんですけども、クラスをそこで切替えをしてもらった上で、全部コピーすれば、全員に招待が行く形になるので、当然クラス編成の入替えとかはやらしてもらわないといけないんですけども、1回つくっておけば、そこで全員招待できます。もう一つ方法があって、こちらクラスをしたときにクラスコードというのが出るんですけども、このコードを入れてしてもらえれば、入れることによってできると思いますか。出るという二つの方法があります。

【合田委員】

先生のお手間がどうなのかなと思って。そんなにかからないということですね。

【松本スマート・スクール・SASEBO推進室係長】

慣れれば大丈夫だと思うんですけど、最初の頃は慣れないのでちょっと少しあるかもしれないんですけども、徐々にやっていただければ、もう慣れると思っております。

【合田委員】

ありがとうございます。

【西本教育長】

ほかにございませんでしょうか。

【萩原委員】

子どもによっては、パソコンに慣れた子と慣れない子がたくさんいると思うんですが、最初の導入というのはどういうふうになさるんですか。計画みたいなのはおありなんですか。ゆっくりゆっくりしかできない子と、さささっとできる子がいて、合同でしようとかいうときに、ああ、もう終わっちゃったみたいな感じにならなければいいなと思って。

【尾崎スマート・スクール・SASEBO推進室主査】

まず児童・生徒さんもですけど、先生たちも慣れてもらうというのがありますので、

まずその研修等を今行っていて、先生たちが思いつかれたことをどんどんやられていけるようになるのかなというふうに思ってるんですけども。

【萩原委員】

クラスごとにどんどんやっていくと。先生によって。

【尾崎スマート・スクール・SASEBO推進室主査】

何しろまだ先行事例が少ない事業でございますので、徐々にほかの自治体のそういうふうなものが出てきた段階でいろいろ研究して、よりよいやり方をとら思っているんですけど、今、学校の先生たちが生徒さんを見ながら丁寧に指導していただくという形になるのかなというふうに考えております。

【萩原委員】

分かりました。ありがとうございます。

【西本教育長】

ほかよろしゅうございますか。

内海委員さん。

【内海委員】

残り一年の私のミッションができたなというふうに思っております。どこよりも、約40年近くコンピューターのことやってきましたので。

ただ、今の説明を聞いて、導入の、何かもっと先にいろんなことができること。だから、じゃあ導入してやりますよじゃなくて、この段階でこのレベルまでとか、目標設定というのが私はとっても大事じゃないかなと思いました。

今日は短くします。来年の前期の学校訪問、とても楽しみです。ここで、まず導入後、数か月しかたっていないけど、どういう使い方をされているのか、どういう運用されているのか、子供たちがどうしているのかというのを物すごく興味深く見たいと思っているし、そこで、かなりの差が絶対出てくると思って。これをどうやってレベルを上げていくのかというのは、学校の先生方が本当にこう、気合を入れて取り組まないといけないことだろうと思うし、逆に、この1年ぐらいの気合の入れ方で、佐世保の教育界が画期的に私はよくなる可能性がすごくあるというふうに思ってます。

民間からすると、費用対効果ですよ。どれだけのお金をかけてこれをやろうとしているのかということを見ると、民間からすると、どでかい投資なんですね。絶対効果を出さないといけない。というのが民間の社長としての意見でございます。あとは、今日はもうここで留めておきますので、熱い思いだけは皆さん方御理解いただければと思います。

一つだけ私が心配なのは、同意書。保護者から頂く同意書は、いろんな保護者の方が

いらっしゃるので、これを丁寧に進めて、全世帯から頂けるように取り組んでいただければと思っています。これが1人でも足りなかったときに、じゃあその1人の子供に渡さないというわけにはいかないですね。その1人の子が家に持って帰れないとかいうことにならないように、これは最大の配慮が必要かなと思いました。今日はこの辺でやめておきます。来年1年間、いろいろ意見を出させていただければと思います。

以上です。

【西本教育長】

よろしゅうございますか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

合田委員さんにおかれましては8年という長い間頑張ってください、本当にありがとうございました。最後に合田委員のほうからお言葉を賜りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【合田委員】

失礼します。総合教育会議のときにも申し上げましたので、本当にお世話になりました。

やっぱり保護者という立場で、教育の成果に時間がかかるというのは、頭では理解していても、そのときそのとき最高の教育を受けさせたいという親心がございます。だからこそ、行政ですとか学校に対して、何となく厳しい目で見てしまったり、この会議でも、稚拙な言葉ですとか不適切な発言が多かったことを本当におわび申し上げます。たくさん勉強させていただきました。これから、内海委員さんの得意分野のGIGAスクールですね、新聞報道などを楽しみにしながら、応援団でありたいなと思います。8年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。

【西本教育長】

本当に合田委員さんには、先ほども申し上げましたとおり、8年という長い間です。実は私よりも古い期間お勤めです。本当にそういう関係でこの教育委員会を盛り立てていただいて、持ち前の見識と、迫力というとは申しませんが、ご尽力いただいたこと本当にうれしく思いますし、やはり学校訪問のときも鋭い御指摘もございました。そういう意味では、新たな学校をつくり変えるという意味でも、非常に重みを成した委員さんじゃなかったかなと。言葉の端々に失礼がありますが。本当に懐かしく思い出されますし、離れられても、ぜひ佐世保市の教育委員会のために言葉を賜りたいと思います。本

当に公私ともにつらいこともあられたとは思いますが、よく取り組まれていただきました。お疲れさまでございました。

それでは、45分からの辞令交付式に参りたいと思います。

その後、次回開催予定日を確認し、終了。

----- 了 -----